

火災が多発しています！！

令和8年4月24日時点で、名取市消防本部管において、**15件の火災**が発生しており、昨年1年間の火災発生件数と並びました！！

この季節は、空気が乾燥し火災が発生しやすく、強風により延焼が拡大し、大火となる可能性が高い状況です。チョットした不注意でも火災が起こりやすくなってきます。皆様方におかれましては、家庭や職場で火災予防対策を徹底し、火の取り扱いには尚一層のご注意を、お願いいたします。

家庭での防火対策

1. 寝たばこは絶対にしない、させない
2. ストープの周りに燃えやすいものを置かない
3. こんろを使うときは火のそばを離れない
4. コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く
5. 家のまわりに燃えやすい物を置かない

火遊び・花火による火災の防止

子供の火遊びによる火災防止のポイント

1. 子供だけを残して外出しない
- 2.ライターやマッチを子供の手の届くところに置かない
3. 子供だけで火を取り扱わせない
4. 火遊びをしているところを見かけたら注意する
5. 火災の恐ろしさ・火の取扱いについて教育する

花火を安全に遊ぶポイント

1. 風の強いときは花火をしない
2. 燃えやすいものがなく、広くて安全な場所を選ぶ
3. 子供だけでなく大人と一緒に遊ぶ
4. 説明書をよく読み、注意事項を必ず守る
5. 水バケツを用意し、使った花火は必ず水につける

たき火の不始末などによる火災

たき火（落ち葉の焼却や家庭ごみの焼却など）の炎が強風にあおられ、付近の枯草や落ち葉に燃え移ったり、消えたと思ってその場を離れたが、残っていた小さな火種が風にあおられ、付近の建物などに燃え移り火災が発生することがあります。

野外での焼却は、一部の例外を除き法律などによって禁止されています。例外的に認められている焼却を行う場合でも、次のことに注意し、火災を起こさないようにしましょう。

1. 風の強い日や空気が乾燥している日には行わない
2. 火の近くに燃えやすい物を置かない
3. 水バケツや消火器など消火の準備をする
4. その場を絶対に離れない
5. 消火をする場合は十分に水をかけ、灰の中に残る小さな火種に注する